

## 研究概要

### 1. 研究名称 または課題名テーマ等

切除可能膵癌に対する術前化学療法における胆道ドレナージ法の多施設共同前向き観察研究

### 2. 研究責任者(当院)

所属：内科

氏名：齊藤 将喜

#### 共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：千葉県がんセンター 消化器内科

代表名：中村 和貴

### 3. 分担研究者

所属：千葉県がんセンター 消化器内科

氏名：中村 和貴

### 4. 研究対象者

研究許可日から 2021年3月31日の間に、聖隷佐倉市民病院において術前化学療法(neoadjuvant chemotherapy: NAC)を予定された胆管狭窄を伴う切除可能膵癌において、減黄を目的とした胆道ドレナージを受けた方、又は受ける方で、且つ個別に同意を得た方。

### 5. 研究の必要性

術前化学療法(neoadjuvant chemotherapy: NAC)を予定された胆管狭窄を伴う切除可能膵癌において、減黄を目的とした胆道ドレナージ法について本邦での現状を把握し、適切な術前胆道ドレナージ法を明らかにすること

### 6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

切除可能膵癌の術前化学療法(neoadjuvant chemotherapy: NAC)における胆道ドレナージ法を比較した研究が未だなく、現時点で適切な胆道ドレナージ法は定まっていないことから、本試験が適切な胆道ドレナージ法選択の一助となる可能性がある。具体的には、胆道ドレナージ法の違いによって NAC および手術が予定通り行えるかどうか、R0 切除率、術後合併症の頻度などで差異が生じるかといった、臨床的疑問の解決につながる事が期待できる。

### 7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：内線番号 2185

担当者氏名：齊藤将喜

対応時間：月～金曜日 9～17時

#### ※ご注意

対象者とは、本研究に参加された方です。  
お問合せは、本研究に参加された方と  
研究関係者のみで、その他の方へのご対応  
はできませんので、予めご了承願います。